ISSN 1881 － 980X

一般社団法人日本科学教育学会
Japan Society for Science Education
発　行：中山　迅
事務局：中西印刷株式会社　学会部内
URL：*http://www.jsse.jp*

2019.10.15
NO.244

科学教育研究レター

JSSE
日本科学教育学会

目　次

■ **理事会だより** ・・・・・・・・ 2
第 284 回理事会報告
第 285 回理事会報告
2019 年度顧問・理事・代議員合同会議報告
第 43 回定時代議員総会報告

■ **年会** ・・・・・・・・10
第 43 回年会開催報告
第 44 回年会開催案内（第 1 次）

■ **支部・研究会だより** ・・・・・・・12
研究会投稿料に関するお知らせ
2019 年度研究会開催のお知らせ

■ **国際交流委員会だより** ・・・・・・・・18
国際ランチョン・ミーティング開催報告
国際学会参加報告（59）
国際学会開催情報

■ **若手活性化委員会だより** ・・・・・・・・22
第 43 回年会における若手活性化委員会企画開催報告
2019 年度第 3 回日本科学教育学会研究会（若手活性化委員会開催）予告

■ **編集委員会だより** ・・・・・・・・25
「科学教育研究」編集状況報告
「科学教育研究」投稿・掲載決定状況

■ **広報委員会からのお知らせ** ・・・・・・・・27

一般社団法人日本科学教育学会第 284 回理事会報告

（要点のみ掲載）

日　時　2019 年 6 月 15 日 (土) 14:00～17:00

会　場　株式会社内田洋行　新川第２オフィス　801 会議室

出席者　会長：中山，副会長：猿田，小川，理事：宮崎，松浦，益子，久保田，内ノ倉，益川，北澤，
※坂本，隅田，出口，大谷，山本，舟生，谷塚，監事：余田，幹事：川上，事務局長：吉川，
※テレビ会議によって参加した.

１．議事要録（案）の承認

○第 283 回理事会議事録（案）を承認した.

２．第 284 回理事会までの電子会議による審議事項と審議結果

○事務局からの発議により，3/31 までに入会を希望した 7 名を電子会議により審査した結果，全員の入会が承認された (4 月 3 日)

○事務局からの発議により，4/30 までに入会を希望した 19 名を電子会議により審査した結果，1 名を除いた全員の入会が承認された (5 月 8 日)

○事務局からの発議により，5/31 までに入会を希望した 27 名を電子会議により審査した結果，1 名を除いた全員の入会が承認された (6 月 7 日)

1) 庶務・事務局

○文書受理（刊行物送付を含む）

19/03/15：財団法人日本学術協力財団：刊行物の送付／学術の動向

19/03/15：財団法人日本学術協力財団：刊行物の送付／学術会議叢書「IT・ビッグデータと薬学」

19/04/03：日本学術振興会：第 10 回日本学術振興会　育志賞受賞候補者の推薦について

19/04/12：財団法人日本学術協力財団：刊行物の送付／学術の動向

19/04/12：日本科学技術振興財団：青少年のための科学の祭典 2019 後援申請

19/04/12：一般財団法人自然環境研究センター：2019 年度生物分類技能検定の案内

19/05/10：国立国会図書館：刊行物の送付／科学技術に関する調査プロジェクト 2018 報告書（3 冊）

19/05/13：財団法人日本学術協力財団：刊行物の送付／学術の動向

19/05/13：筑波大学科学の芽賞実行委員会：第 14 回「科学の芽」賞作品募集（チラシ，ポスター）

19/06/12：財団法人日本学術協力財団：刊行物の送付／学術の動向

19/06/03：日本環境教育学会編（株式会社キーステージ 21 より献本）：刊行物の送付／「環境学習のラーニング・デザイン」書籍

19/06/10：文部科学省研究振興局：令和 2 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞，若手科学者賞及び研究支援賞受賞候補者の推薦について

○メールでの受付

18/11/30～19/5/31:日本学術会議ニュース・メール（No.660～678）受付

＊内容について本学会ホームページ「お知らせ」日本学術会議ニュース・メールを参照.

○その他の対応

19/05/07：麻布大学の福井智紀会員より研究報告掲載論文について転載申請があり承認した.

2）機関誌編集

○編集状況に関して，投稿状況，査読状況，掲載決定状況について報告があった.

3）学会賞

○会賞の候補の推薦状況について，会員から 14 件の推薦（大塚賞０件，学術賞０件，国際貢献賞２件，論文賞２件，科学教育実践賞１件，功労賞５件，奨励賞４件）があった旨の報告があった.

4）支部・研究会

○研究会の開催状況について報告があった.

5）調査研究・学術交流

○第 43 回年会の２日目の午後にてシンポジウム「科学教育とジェンダー平等－SDGs 4 & 5 の実現を目指してー」を企画している旨の報告があった.

6）国際交流

○第 43 回年会の３日目の昼にて国際ランチョン・ミーティングを企画している旨の報告があった.

○ICASE 世界大会について，2019 年 12 月 2 日から 6 日にかけてタイにて開催される旨の報告があった.

7）年会企画

○第 43 回年会の準備状況について報告があった．各種委員会の開催有無・弁当の必要の有無の確認のメールを後日配信される旨のアナウンスがあった.

○第 44 回年会の準備状況について報告があった.

8）広報・学会 IT 化

○学会通信の作成のスケジュールについて報告があった．各委員会の担当を確認した.

9）若手活性化

○第 43 回年会の１日目の午後にてチュートリアル「はじめての『科学教育研究』」とスタートパーティーを企画している旨の報告があった.

○2019 年 12 月 21 日に長崎大学・文教キャンパスにて若手活性化委員会担当の研究会の開催を予定している旨が報告された.

10) 財政健全化検討部会

○過去の学会予算の収支簿についての説明があり，事務委託費が増えてきており，電子化部会と連携し，経費の節減と会費値上げ等について引き続き検討していくことが報告された.

11) 電子化部会

○電子化についてのこれまでの検討内容について，「科学教育研究」等の電子化が本学会の財政健全化に与える影響について説明があった.

４．協議事項

1）経理・会員

○退会希望者 6 名について承認した.

＊現在会員数 1,461 名（正会員 1,265 名，学生会員 135 名，名誉会員 13 名，公共会員１名，賛助会員３名，シニア会員 44 名）（2019 年 5 月 31 日付）

（前回理事会：会員数 1,449 名（正会員 1,256 名，学生会員 132 名，名誉会員 13 名，公共会員１名，賛助会員３名，シニア会員 44 名）（2019 年 2 月 28 日付））

○2019 年度収支予算書（案）について説明があり承認した.

2）庶務

○第 43 回定時代議員総会について，2019 年 7 月 4 日に通知を発送する旨の報告があった.

○第 43 回定時代議員総会議事次第と学会通信（総会号）について提案があり，各理事に担当個所に関する議題の提出依頼をした上で承認された．なお，収支の現状と今後の見通し，財政健全化・電子化部会の検討経緯については，議案とせず，その他として報告することとした.

3）学会賞

○学会賞候補の選考結果について，下記の通り提案があり承認された.

功労賞：吉岡亮衛会員（国立教育政策研究所）

功労賞：村瀬康一郎会員（岐阜大学教育学部附属学習協創開発研究センター）

功労賞：片平克弘会員（筑波大学人間系教育学域）

功労賞：遠西昭寿会員（愛知教育大学）

功労賞：東原義訓会員（信州大学教育学部）

奨励賞：川上貴会員（宇都宮大学教育学部）

奨励賞：川﨑弘作会員（岡山大学大学院教育学研究科）

奨励賞：福田博人会員（岡山理科大学）

奨励賞：雲財　寛会員（日本体育大学大学院教育学研究科）

国際貢献賞：山下修一会員（千葉大学教育学部）・野村純会員（千葉大学教育学部）

国際貢献賞：藤井浩樹会員（岡山大学大学院教育学研究科）

教育実践賞：加納圭会員（滋賀大学）・水町衣里会員（大阪大学）・塩瀬隆之会員（京都大学）・竹内慎一会員（NHK エデュケーショナル）

論文賞：三宅志穂会員（神戸女学院大学）

4）支部・研究会

○9 支部と 1 委員会による 2019 年度の研究会開催計画（案）について提案があり承認された.

5）広報・学会 IT 化

○レンタルサーバの引っ越しのための調査を行うことの提案があり，承認された.

6）代議員選挙管理委員会及び役員選挙管理委員会の立ち上げについて

○代議員選挙管理委員会の委員として以下の会員の指名があり，承認された.

出口明子（宇都宮大学），北澤　武（東京学芸大学），益川弘如（聖心女子大学）

○役員選挙管理委員会の委員として以下の会員の指名があり，承認された.

舟生日出男（創価大学），谷塚光典（信州大学），山本智一（兵庫教育大学）

7）電子化部会

○2019 年度科学教育学会「電子化部会」による今後の学会誌のあり方についての試算結果,「科学教育研究」等の電子化することによる本学会の財政健全化に与える課題について説明があり，電子化に向けて複数の方策が提示され，引き続き検討を続けること，財政健全化部会とともに合同会議や代議員総会にてその検討の背景や進捗状況を報告することが承認された.

5．次回以降の理事会予定

・第 285 回：2019 年 8 月 23 日（金）15:15～17:15　場所：宇都宮大学（8 号館 A 棟 2F　大会議室）

・第 286 回：2019 年 11 月 16 日（土）14:00～17:00　場所：株式会社内田洋行 新川第２オフィス

・第 287 回：2020 年 3 月 21 日（土）14:00～17:00　場所：株式会社内田洋行 新川第２オフィス

・第 288 回：2020 年 6 月 20 日（土）14:00～17:00　場所：株式会社内田洋行 新川第２オフィス

一般社団法人日本科学教育学会第 285 回理事会報告

（要点のみ掲載）

日　時　2019 年 8 月 23 日 (金) 15:15～17:15

会　場　宇都宮大学（８号館 A 棟 2F 大会議室）

出席者　会長：中山，副会長：猿田，小川，理事：宮崎，松浦，益子，久保田，内ノ倉，益川，竹中，北澤，山口，隅田，出口，大谷，山本，舟生，谷塚，監事：余田，佐伯，事務局長：吉川，幹事：川上

１．議事要録（案）の承認

○第 284 回理事会議事録（案）を承認した.

２．第 285 回理事会までの電子会議による審議事項と審議結果

○事務局からの発議により，6/30 までに入会を希望した 22 名を電子会議により審査した結果，全員の入会が承認された (7 月 8 日)

○事務局からの発議により，7/31 までに入会を希望した３名を電子会議により審査した結果，全員の入会が承認された (8 月 3 日)

以上を確認した.

３．報告事項

１) 庶務・事務局

○文書受理（刊行物送付を含む）

19/07/10：博報財団：第 15 回児童教育実践についての研究助成案内冊子

19/07/12：財団法人日本学術協力財団：刊行物の送付／学術の動向

19/07/12：一般社団法人大学教育学会：刊行物の送付／大学教育学会誌

○メールでの受付

19/07/30：2020 年度笹川科学研究助成の公募について

19/08/09：日本科学協会主催セミナー「未来をひらく　科学と倫理」のご案内

19/06/14～19/08/09:日本学術会議ニュース・メール(No.679～686)受付

○その他の対応

19/07/11：グローバルサイエンスキャンパス（GSC）「全国受講生研究発表会」について後援申請があり承認した.

19/07/30：お茶の水女子大学理系女性教育開発共同機構シンポジウムについて後援申請があり承認した.

２) 機関誌編集

○編集状況に関して，投稿状況，査読状況，掲載決定状況について報告があった.

３) 学会賞

○年会発表賞候補の投票の呼びかけがあった.

4）支部・研究会

○９支部と若手活性化委員会の 2019 年度研究会の開催が予定されている旨の報告があった.

○2019 年度からは PDF 版のみのプログラム掲載とする旨の報告があった.

5）国際交流

○第 43 回年会３日目の国際ランチョンミーティングを実施する予定であることが報告された.

6) 年会企画

○第 43 回年会（宇都宮）の開催状況について，事前申込者 366 名，懇親会事前申込者 123 名の報告があった．羊土社から年会の様子の取材希望があった旨の報告があった.

○第 44 回年会（姫路）の準備状況について，第 44 回年会の年会実行委員会の構成の報告があった．２日目の総会と懇親会の時に第 44 回年会の案内を告知する旨の報告があった.

7) 広報・学会 IT 化

○広報・学会 IT 化委員会構成について報告があった．令和元年度『科学教育研究レター』の編集・発行日程について報告があった.

8）若手活性化

○第 43 回年会における若手活性化委員会企画の準備・実施状況について，チュートリアルの参加人数が 45 名，スタートパーティの参加人数が 41 名，ボランティア参加者が７名であるとの報告があった.

○2019 年度における若手活性化委員会担当の研究会開催の準備状況について，12 月 21 日に長崎大学にて開催される予定の報告があった.

9）電子化部会

○学会誌「科学教育研究」を電子化することによる本学会の財政健全化に与える影響と運用上の課題についてまとめ，５通りの具体的方法とそれに伴う削減見込について説明があった.

10) 財政健全化検討部会

○現在の財政状況とその対策案として，学会誌印刷に関する費用の削減と，研究会での発表者への課金についての説明があった.

４．協議事項

1) 経理・会員

○退会希望者 61 名について承認した.

＊現在会員数 1,460 名（正会員 1,242 名，学生会員 155 名，名誉会員 13 名，公共会員１名，賛助会員３名，シニア会員 46 名）（2019 年 8 月 9 日付）

（前回理事会：会員数 1,461 名（正会員 1,265 名，学生会員 135 名，名誉会員 13 名，公共会員１名，賛助会員３名，シニア会員 44 名）（2019 年 5 月 31 日付））

○除籍対象者 40 名について承認した.

2）支部・研究会

○各研究会の支部長についての提案があり，承認された.

3）若手活性化

○若手活性化委員会内規において，ベストプレゼンテーション賞およびボランティアに関する学会員資格と「科学教育研究」の若手特集の投稿条件となっている学会員資格を一致させる改定させる提案があり，承認された.

４）財政健全化検討部会

○財政健全化の対策案について，2020 年度からの学会誌印刷に関する費用の削減と，2019 年度からの研究会での発表者への課金の方針を，合同会議および代議員総会において理事会として報告することが承認された.

５．次回以降の理事会予定

・第 286 回：2019 年 11 月 16 日（土）14:00～17:00　場所：株式会社内田洋行 新川第２オフィス
・第 287 回：2020 年３月 21 日（土）14:00～17:00　場所：株式会社内田洋行 新川第２オフィス
・第 288 回：2020 年６月 20 日（土）14:00～17:00　場所：株式会社内田洋行 新川第２オフィス
・第 288 回：2020 年８月 25 日（火）未定　場所：姫路商工会議所

2019 年度顧問・理事・代議員合同会議報告

日 時: 8 月 23 日（金）17：30－19：30 宇都宮大学　8 号館 A 棟大会議室

2019 年度顧問・理事・代議員・支部長合同会議は，会長，副会長(2 名)，代議員(27 名)，顧問（2 名)，支部長(4 名)，理事(14 名），監事（2 名），年会企画委員長，年会実行委員長，広報委員長の実出席者数 48 名（ただし，役員役職の重複あり）が出席して開催された.

最初に，日野年会実行委員長から歓迎の挨拶，中山迅会長から学会の近況報告があった.
続いて，2018 年度事業報告及び収支決算についての説明，2019 年度事業計画及び収支予算についての説明があり，これらの説明に対して参会者からの質疑応答があった.

その後，会長及び副会長から財政健全化のための方針について説明があり，今後の方向性について協議された.

一般社団法人日本科学教育学会第 43 回定時代議員総会報告

日 時：2019 年 8 月 23 日（土）13:45～15:47
場 所：宇都宮大学 峰キャンパス　A 会場（8D11）

次 第　（進行：宮﨑樹夫 理事）

１．開会の辞　（小川義和　副会長）
２．第 43 回年会実行委員長挨拶　（日野圭子　実行委員長）

3．会長挨拶　（中山　迅　会長）

4．議長選出

定款第 36 条により，中山迅会長を議長に選出した.

5．議事録署名人委任　(中山　迅 会長)

議事録署名人を，日野圭子（宇都宮大学），松本伸示（兵庫教育大学）の両会員に委任することを，拍手でもって承認した.

6．審議　(議長：中山　迅　会長)

代議員総会出席者 27 名，委任状 11 通で代議員総会成立を確認した.　(青山和裕　理事)

1）第 1 号議案の提案　(青山和裕・益子典文　理事)

2018 年度事業報告書及び収支決算書の説明と提案が行われ，第 1 号議案は満場一致をもって承認可決された.

2）監査報告　(余田義彦・佐伯昭彦　監事)

監査の結果，一般社団法人日本科学教育学会のすべての会計処理が適正に行われていたことを確認した旨，財政顕在化を早急に進める旨を会長に提案した旨が報告された.

3）第 2 号議案の提案　(青山和裕・益子典文　理事)

2019 年度事業計画書及び収支予算書（案）の説明と提案が行われ，第 2 号議案は代議員 37 名の出席中 33 名が賛成し，承認可決された.

4）その他

第 2 号議案の審議に関連して，以下の報告と協議が行われた.

・財政健全化検討部会から，現在の財政の状況について報告があった（猿田祐嗣　副会長）.

・電子化部会から，財政健全化の具体的方法として，2020 年度からの学会誌印刷に関する費用の削減策についての検討結果の報告があった（小川義和　副会長）.

・財政健全化検討部会から，電子化部会から報告された学会誌印刷に関する費用の削減策に加えて，2019 年度からの研究会での発表者への課金とそれに伴う削減見込について説明があった（猿田祐嗣　副会長）.

7．議長解任

8．表彰

1）学会賞選考委員会での選考経過の報告　（益川弘如　理事）

学会賞選考委員会での選考経過が報告された.

2）表彰　（中山　迅　会長）

国際貢献賞

・山下修一（千葉大学教育学部），野村　純（千葉大学教育学部）

・藤井浩樹（岡山大学大学院教育学研究科）

論文賞

・三宅志穂（神戸女学院大学）

科学教育実践賞

・加納　圭（滋賀大学），水町衣里（大阪大学），塩瀬隆之（京都大学），竹内慎一（NHK エデュケーショナル）

功労賞

・吉岡亮衛（国立教育政策研究所）

・村瀬康一郎（岐阜大学教育学部附属学習協創開発研究センター）
・片平克弘（筑波大学人間系）
・遠西昭壽（愛知教育大学）
・東原義訓（信州大学教育学部）

奨励賞

・川上　貴（宇都宮大学教育学部）
・川﨑弘作（岡山大学大学院教育学研究科）
・福田博人（岡山理科大学）
・雲財　寛（日本体育大学大学院教育学研究科）

年会発表賞

・奥山英登（国立アイヌ民族博物館設立準備室），中井 貴規（国立アイヌ民族博物館設立準備室），笹木一義（国立アイヌ民族博物館設立準備室）
・藤原大樹（お茶の水女子大学附属中学校）
・中村大輝（広島大学大学院），山根悠平（日本体育大学大学院教育学研究科），西内　舞（日本体育大学大学院教育学研究科），雲財　寛（日本体育大学大学院教育学研究科）

９．次年度第 44 回年会実行委員長挨拶　（松本伸示　実行委員長）

10．閉会の辞　（小川義和　副会長）

第 43 回年会開催報告

去る 2019 年 8 月 23 日（金）～25 日（日）に，文部科学省，栃木県教育委員会，宇都宮市教育委員会，国立大学法人宇都宮大学の御後援により，日本科学教育学会第 43 回年会宇都宮大会が，宇都宮大学峰キャンパスで開催されました．教育学部棟の改修工事に伴う引越の作業日と重なってしまい，ご迷惑をおかけすることになってしまいましたが，大きな混乱なく終えることが出来，ほっとしております．

本年会には，学生スタッフを含め，全国各地から 497 名の御参加を頂きました．そして，招待講演（科学教育研究セミナー）２件，基調講演１件，シンポジウム１件，課題研究発表 19 課題 95 件，一般研究発表 116 件，インタラクティブセッション 16 件，若手活性化委員会主催のチュートリアル，スタートパーティー，国際交流委員会主催の国際ランチョン・ミーティング，代議員総会・表彰，懇親会，各種委員会などのプログラムが催されました．

次年度から，次代を担う子供達に求められる資質・能力の育成を核とする新学習指導要領の全面実施がスタートします．その背景には，Society5.0 への方策，地球規模での課題群への対応という課題もあり，課題の解決において，科学技術が果たす役割，そして，人材の育成に関わって科学教育の在り方が問われています．こうした大きな動向の中，本年会では，本学会の特徴である多様な専門性を有する研究者や教育者が集い，日々の研究成果を発表，交流するとともに，科学教育の今後の課題や方向性について語り合う場を持ちました．

招待講演では，磯﨑哲夫氏（広島大学大学院）から，「科学教育の原理的研究におけるアプローチの再構築とその展開」，隅田学氏（愛媛大学）から，「科学才能教育研究の開拓と国際学術協働の先導」について御講演頂き，研究上のアプローチを振り返り，新たな価値を創出する上でのヒントを頂きました．基調講演では，小川正賢氏（神戸大学名誉教授）から，新しい課題や社会的要請に対応する研究の戦略や方向性が，自身の研究の経験を振り返る中で示されました．シンポジウムは，ジェンダー平等のテーマの下，坂本美紀氏（神戸大学）をコーディネータとして，森永康子氏（広島大学），井上敦氏（NIRA 総合研究開発機構），稲田結美氏（日本体育大学）の３名から，初等中等の科学教育，科学教員養成に関わって男女差の実態，メカニズム，解決の視点が示され，議論されました．

課題研究発表，一般研究発表，インタラクティブセッションにおいても，研究の交流が活発に行われました．１つの分科会に，異なる教科や専門の研究者が入り混じる本学会は，多様な視点やアイデアに出会う魅力を持っています．更に，学術研究を通しての国際交流の機会も生まれていました．

本年会の運営に当たっては，昨年度の信州大会同様，旅行業者への委託を行いました．それによって，円滑な運営が可能になりました．また，経費等の事情により，本年会から，論文集 PDF が収められた USB メモリの配布を廃止しました．更に，会期中に台風・地震など災害が起こった際の中止等の対応についても取り決めを行いました．

最後となりましたが，本年会に参加頂きました皆様，年会企画委員会，年会実行委員会，学生スタッフの皆様に，心から御礼を申し上げます．

日本科学教育学会第 43 回年会実行委員会 委員長　日野圭子

第 44 回年会 開催案内（第１次）

１．日程：2020 年 8 月 25 日（火）～27 日（木）（3 日間を予定）

２．会場：姫路商工会議所

（〒670-8505　兵庫県姫路市下寺町 43）

https://www.himeji-cci.or.jp/accessmap/index.html

※懇親会（26 日（水）夕方）は，姫路商工会議所 2 階大ホールで予定しています.

３．連絡先：日本科学教育学会第 44 回年会実行委員会

E-mail：jssehyogo44 [at mark] gmail.com

４．第 44 回年会実行委員会

委 員 長　松本伸示（兵庫教育大学）

副委員長　山本智一（兵庫教育大学）

委　　員　石原　諭（兵庫教育大学），猪本　修（兵庫教育大学），笠原　恵（兵庫教育大学），
加藤久恵（兵庫教育大学），溝邊和成（兵庫教育大学），宮田佳緒里（兵庫教育大学）
森山　潤（兵庫教育大学），山口忠承（兵庫教育大学）

５．年会企画委員会

委員長 林　敏浩（香川大学）

副委員長 瀬戸崎典夫（長崎大学），向　平和（愛媛大学）

幹事 加藤久恵（兵庫教育大学）

担当理事 大谷　忠（東京学芸大学），山本智一（兵庫教育大学）

委 員 川上　貴（宇都宮大学），川崎弘作（岡山大学），
木村優里（NPO 法人東京学芸大学こども未来研究所），北島茂樹（明星大学），
島田和典（東京学芸大学），高井吾朗（愛知教育大学），
高橋一将（北海道教育大学），高橋　聡（東京理科大学），野添　生（宮崎大学），
服部裕一郎（高知大学），日野圭子（宇都宮大学），谷塚光典（信州大学），
山田真子（長崎大学）

研究会投稿料に関するお知らせ

2019 年度の研究会から，第 1 著者の方に投稿料をお支払いいただくことになりましたので，以下に詳細をお知らせいたします.

［投稿料の金額と要件］

【1】金額 (1 論文あたり)

・第 1 著者が会員の場合　4 ページ論文：4,000 円，6 ページ論文：6,000 円

・第 1 著者が非会員の場合　4 ページ論文：8,000 円，6 ページ論文：10,000 円

※振込手数料を別途ご負担ください.

※振込者名は，原則として第 1 著者名でお願いします．他の連名著者が支払う場合には，通信欄もしくは送信者名の冒頭に必ず第 1 著者名を記載してください.

※請求書や領収書が必要な場合には, 宛名 (所属・名前) を申込み時に, 事務局 (jsse[atmark]nacos.com) にお知らせください.

【2】事前振込となります.

【3】振込期日は原稿の提出日と同日です.

【4】期日までに入金が確認でき，原稿が提出された発表のみ，研究会の 2 日前に J-Stage に論文を公開します.

※振込手続の際には，入金日をご確認うえ，期日に間に合うようご注意ください.
（期日までにご入金が確認できない場合は，J-Stage に論文は公開されず，発表はできません.）

・学生会員も同様です.

・発表申込み時に「入会申込み」が完了していれば，会員として扱います.

・１つの研究会で第１著者として申込みできるのは，１件です.

・当日，発表者として登壇できるのは，原則第１著者とします.

・一度入金された投稿料は，いかなる場合も一切返金しません．返金に関する問い合わせへの対応も一切いたしませんので，予めご了承ください.

［送金先（郵便振替貯金口座)］

加入者名：一般社団法人日本科学教育学会

口座番号:00170-6-85183　（他金融機関からの送金の場合 ： 〇一九 (ゼロイチキュウ)店　当座　0085183）

※通信欄に，必ず「発表する研究会名（〇〇支部あるいは若手活性化委員会)」「第 1 著者氏名」を記入してください. 記入できない場合は, 別途メールにてご連絡ください. (連絡先: jsse[atmark]nacos.com)

※「振替払込請求書兼受領証」をもって領収書に代えさせて頂きます.
学会発行の領収書がご入用の場合は, 払込取扱票の通信欄に, 1) 領収書希望, 2) 宛名をご記入の上, ご送金下さい．別途事務局宛 (jsse[atmark]nacos.com) メールでも承ります.

2019 年度研究会開催のお知らせ

開催計画

開催支部	開催日	会場
東北支部	2019 年 11 月 30 日	岩手大学
九州沖縄支部	2019 年 11 月 30 日	琉球大学教育学部
若手活性化委員会	2019 年 12 月 21 日	長崎大学・文京キャンパス
北海道支部	2020 年 2 月下旬予定	北海道教育大学旭川校
北陸甲信越支部	2020 年 3 月 7 日	上越教育大学
南関東支部	2020 年 3 月下旬予定	東京学芸大学小金井キャンパス（予定）
北関東支部	2020 年 5 月 16 日	群馬大学教育学部
四国支部	2020 年 5 月 23 日	徳島大学総合科学部＜１号館＞
中国支部	2020 年 5 月 30 日または 6 月 6 日	福山市立大学
東海支部	未定	静岡大学

研究会に関する最新情報は学会 Web ページに掲載しますので，ご確認ください．
※右の QR コードより，学会 Web ページ（研究会案内）にアクセスできます．
http://www.jsse.jp/jsse/modules/note7/

2019 年度　第 1 回日本科学教育学会研究会（東北支部開催）

［テーマ］新しい時代を生き抜く資質・能力を育む科学教育
［主　催］一般社団法人　日本科学教育学会
［日　時］令和元年（2019）11 月 30 日（土）10:00～17:00
［会　場］岩手大学　学生センターＡ棟　Ｇ１大講義室　Ｇ２大講義室
〒020-8550　岩手県盛岡市上田三丁目 18 番 33 号
［対　象］会員，教員，学生，社会人
［参　加］発表の有無にかかわらず参加できます．会員でない方もご参加いただけます．参加費は無料です．
［問い合わせ］2019 年度第 1 回日本科学教育学会研究会・企画編集委員：久坂哲也
〒020-8550　岩手県盛岡市上田三丁目 18 番 33 号　岩手大学教育学部内
Tel/Fax (019-621-6826)
E-mail：hisasaka(atmark)iwate-u.ac.jp（久坂哲也）
［発表申込］
発表は，単名または連名発表者に 1 名以上の会員を含むことが条件となります．
発表申し込み時に「入会申し込み」が完了していれば，会員として扱うこととします．
希望される方は，氏名，所属，発表題目，E-mail アド レス，電話番号，連絡先住所，使用機器 を明記した E-mail を 企画編集委員：久坂哲也（岩手大学）までお送りください．
発表申込締切は，令和元（2019）年 10 月 21 日（月）です．

研究会研究報告の原稿執筆要項は学会ホームページをご参照ください.
〈URL：http://www.jsse.jp/~kenkyu/2018/WritingGuidelineFrom2019.pdf 〉
研究会研究報告の原稿例も学会ホームページをご参照ください.
〈URL：http://www.jsse.jp/~kenkyu/2018/WritingExampleFrom2019.docx 〉
原稿投稿料の支払いと原稿の提出締切は，令和元（2019）年 11 月 10 日（日）です.
次のウェブサイトから投稿してください.
〈 https://jsse-kenkyukai-form.jp/ 〉
研究会情報のプルダウンメニューで「東北支部」を選んでください.
投稿完了メールは＜info(atmark)jsse-kenkyukai-form.jp＞より自動送信されます．このアドレスからのメールを受信できるように，あらかじめフィルタ設定等をご確認ください．アドレスの(atmark)の部分は@です.
原稿提出が指定の期日に遅れますと，投稿できなくなり，自動的に取り消しとなります．また，原稿投稿料が指定の期日に遅れますと，発表できませんので，ご注意ください.

多数の方々のご参加をお待ちしております.

日本科学教育学会　東北支部長　中村 好則（岩手大学）

2019 年度　第 2 回日本科学教育学会研究会（九州沖縄支部開催）

［テーマ］未来の知識を集積する科学教育
［主　催］一般社団法人　日本科学教育学会
［日　時］令和元年（2019）11 月 30 日（土）9:30～17:00（予定）
［会　場］琉球大学　教育学部（本館棟）　1 階　各教室
〒903-0213　沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地
会場へのアクセスの詳細は http://www.u-ryukyu.ac.jp/access/ にてご確認ください.
会場まで公共交通機関を利用される場合，高速バスは「琉大入口」下車後徒歩約 20 分，路線バス 98 番は「琉大北口・構内駐車場（終点）」下車後徒歩約 15 分，路線バス 97 番は「琉大附属学校前」もしくは「琉大東口」下車後，徒歩約 10 分です．研究会当日は土曜日のため，沖縄都市モノレール（ゆいレール）首里駅からの快速バス（94 番）は運休です.
10 月 1 日より，モノレールが「てだこ浦西駅」まで延伸予定です．会場へは「てだこ浦西駅」からタクシーもしくは路線バス 97 番（駅近くの「西原入口」バス停から乗車）の利用が便利です.
大学構内（会場付近）には駐車場がありますので自家用車やレンタカーも利用可能です.
［対　象］会員，教員，学生，社会人
［参　加］発表の有無にかかわらず参加できます．会員でない方もご参加いただけます．参加費は無料です.
［問い合わせ］2019 年度第 2 回日本科学教育学会研究会・企画編集委員：吉田安規良
〒903-0213　沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地　琉球大学大学院教育学研究科
Tel/Fax (098-895-8355)
E-mail：whelk (atmark) edu.u-ryukyu.ac.jp（吉田安規良）

［発表申込］

発表は，単名または連名発表者に 1 名以上の会員を含むことが条件となります．

発表申し込み時に「入会申し込み」が完了していれば，会員として扱うこととします．

希望される方は，氏名，所属，発表題目，E-mail アド レス，電話番号，連絡先住所，使用機器 を明記した E-mail を 企画編集委員：吉田安規良（琉球大学）までお送りください．

なお，会場では，VGA 端子での入力が可能なプロジェクターのみ準備します（パソコンはご持参ください；また VGA で直接接続できない場合には変換ケーブルもご持参ください）．

発表申込締切は，令和元（2019）年 10 月 21 日（月）です．

研究会研究報告の原稿執筆要項は学会ホームページをご参照ください．

〈URL：http://www.jsse.jp/~kenkyu/2018/WritingGuidelineFrom2019.pdf 〉

研究会研究報告の原稿例も学会ホームページをご参照ください．

〈URL：http://www.jsse.jp/~kenkyu/2018/WritingExampleFrom2019.docx 〉

原稿投稿料の支払いと原稿の提出締切は，令和元（2019）年 11 月 10 日（日）です．

次のウェブサイトから投稿してください．

〈 https://jsse-kenkyukai-form.jp/ 〉

研究会情報のプルダウンメニューで「九州沖縄支部」を選んでください．

投稿完了メールは＜info(atmark)jsse-kenkyukai-form.jp＞より自動送信されます．このアドレスからのメールを受信できるように，あらかじめフィルタ設定等をご確認ください．アドレスの(atmark)の部分は＠です．

原稿提出が指定の期日に遅れますと，投稿できなくなり，自動的に取り消しとなります．また，原稿投稿料が指定の期日に遅れますと，発表できませんので，ご注意ください．

［開催地特別企画］研究会当日（11 月 30 日），開催地特別企画として，小学生・中学生・高校生だけで行った研究を対象とした「児童・生徒によるポスターセッション」を開催いたします．

［発表申込・論文提出締切］

発表は，児童・生徒（初等中等教育を受けている者）だけが単名または連名で行う，本学会の目的に沿うものに限ります．発表者には会員を含む必要はありません（非会員だけでも可です）が，共同研究者に大人が含まれるもの（大人と連名での発表）は申し込みできません．ただし，発表申し込みの手続きは，児童・生徒の研究活動を支援・指導されている大人（保護者，教員等）が行ってもかまいません．

１発表につき，おおむね B0 判（W 1030 mm × H 1456 mm）の大きさのポスター１枚が掲示できるスペースを提供します．

発表を希望される方は，氏名，所属，発表題目，E-mail アドレス，電話番号，連絡先住所，使用機器（ポスターの掲示以外に電源や机などが必要な場合）を明記した E-mail を企画編集委員：吉田安規良 （琉球大学）までお送りください．

こちらの発表申込は無料です．

発表申込締切は，研究会と同じく，令和元年（2019）10 月 21 日（月）です．

［情報交換会］研究会当日（11 月 30 日），19 時から那覇市内にて情報交換会を開催いたします．参加を希望される方は，研究会への発表申込とは別に，https://forms.gle/2SNGP3h1ThNLEug58 にてお申し込みください（締切：11 月 3 日（日・祝））．

［その他］研究会翌日（12 月 1 日（日））は，那覇市，南風原町，八重瀬町，糸満市，豊見城市の南部 5 市町を通る，第 35 回 NAHA マラソン（参加者：3 万人規模）が開催されます．宿泊先（特に那覇市内）や航空券等の交通手段の確保にご注意ください（早めのご予約をお勧めします）．

多数の方々のご参加をお待ちしております．

日本科学教育学会　九州沖縄支部長　吉田安規良（琉球大学）

2019 年度第 3 回日本科学教育学会研究会（若手活性化委員会開催）

［テーマ］次世代の科学教育研究

［主　催］一般社団法人　日本科学教育学会

［日　時］令和元年（2019）12 月 21 日（土）13:00～17:30（12:30 受付開始）

［会　場］長崎大学（文京キャンパス）

〒852-8521 長崎県長崎市文教町 1 - 1 4

○交通案内 http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/access/bunkyo/index.html 大学構内（会場付近）には駐車場がありますので自家用車やレンタカーも利用可能です．

［対　象］会員，教員，学生，社会人

［参　加］発表の有無にかかわらず参加できます．会員でない方もご参加いただけます．参加費は無料です．

［発　表］発表は，単名または連名発表者に 1 名以上の会員を含むことが条件となります。発表申し込み時に「入会申し込み」が完了していれば，会員として扱うこととします。

今回は全てポスター発表となります。当日のポスターサイズは申込完了時の返信メールにてご案内します。

ポスター発表に先立って，発表内容を 30 秒間で簡潔にご説明いただきます。そのためのプレゼンテーションスライド 1 枚をポスターとは別に作成いただきます。

ご不明な点につきましては，以下の問い合わせ先までメールにてご連絡ください。

問い合わせ先：otanih (atmark) fc.jwu.ac.jp

日本科学教育学会若手活性化委員会・幹事　大谷洋貴（日本女子大学）

［発表申込・参加申込締切］発表申込締切は，令和元年（2019）11 月 11 日（月）です。

参加申込締切は 2019 年 12 月 6 日（金）です。

参加・発表申し込みは全て Google フォームで行います。

下記の「事前申込フォーム」よりお申し込みください。

申込後，修正がある場合は，「発表」欄の「問い合わせ先」までご連絡ください。

事前申込フォーム

https://forms.gle/3JZhafUwfMgB3erS9

［論文提出締切］研究会研究報告の原稿執筆要項は学会ホームページをご参照ください。

〈URL：http://www.jsse.jp/~kenkyu/2018/WritingGuidelineFrom2019.pdf 〉

研究会研究報告の原稿例も学会ホームページをご参照ください。

〈URL：http://www.jsse.jp/~kenkyu/2018/WritingExampleFrom2019.docx 〉

原稿投稿料の支払いと原稿の提出締切は，令和元（2019）年 12 月 2 日（月）です。
次のウェブサイトから投稿してください。
〈https://jsse-kenkyukai-form.jp/〉
研究会情報のプルダウンメニューで「若手活性化委員会」を選んでください。
投稿完了メールは＜info(atmark)jsse-kenkyukai-form.jp＞より自動送信されます。このアドレスからのメールを受信できるように，あらかじめフィルタ設定等をご確認ください。アドレスの(atmark)の部分は＠です。
原稿提出が指定の期日に遅れますと，投稿できなくなり，自動的に取り消しとなります。また，原稿投稿料が指定の期日に遅れますと，発表できませんので，ご注意ください。

［論文提出締切］当日の発表の中から，優秀な研究発表に対して「ベストプレゼンテーション賞」を授与します。本研究会の研究発表におけるベストプレゼンテーション賞の受賞者は，下記の条件(1),(2),(3)を満たすものとします。

（1）本研究会における研究発表の登壇者であること。
（2）正会員または学生会員であること。ただし，非会員が受賞候補となった場合には，本学会への入会の意思を確認し，入会の意思が示された場合には受賞者とする。
（3）以下の（a），（b），（c）のいずれかを満たしていること。
（a）研究発表日時点で，39 歳以下である。
（b）研究発表日時点で，修士課程，博士課程，専門職学位課程のいずれかに在学している。
（c）研究発表日時点で，博士の学位取得後 8 年未満（※）である。
（※）研究発表日までに博士の学位を取得見込みの者及び博士の学位を取得後に取得した産前・産後の休暇，育児休業の期間を除くと博士の学位取得後 8 年未満となることを含む。

［その他］本研究会で研究発表を行うことで，学会機関誌『科学教育研究』の特集「次世代を担う若手研究者の科学教育研究」に論文を投稿する条件の一部を満たすことができます。特集の投稿募集の詳細につきましては，学会 Web サイトをご確認ください。

［企画・懇親会］第 3 回研究会では，若手特集に関する企画や懇親会の開催を予定しております。詳細は，後日公開いたします。

多数の方々のご参加をお待ちしております.

日本科学教育学会　若手活性化委員会委員長　雲財　寛（日本体育大学）

国際ランチョン・ミーティング開催報告

日本科学教育学会第 43 回年会３日目の８月 25 日（日）の昼食時間に，国際交流委員会主催の「国際ランチョン・ミーティング」を開催しました．大学院生や若手研究者，海外の学生・院生や研究者も含め，35 名の方にご参加いただき，大変盛況となりました．

今回は「国際共同研究の始め方」をテーマにした企画を行いました．

はじめに，これまで国際的な活動を活発に展開されている，藤井浩樹先生（岡山大学），山下修一先生（千葉大学）から話題提供をいただきました．国際的な研究活動や国際交流事業を始めたきっかけや人脈作りの方法，今後の展望などについて大変興味深いお話をいただきました．続いて，４～５名のグループに分かれてのディスカッションを行いました．各グループで自己紹介のあと，これまでの国際的な活動の経験やこれからの抱負などについて，意見交流を行いました．その後，各グループでのディスカッションの内容について，全体交流を行い，世代や国籍を超えた英語での意見交流が和やかに展開されました．最後に，隅田国際交流委員会担当理事より閉会の挨拶がありました．

国際交流委員会では毎年，年会期間中の昼食時間帯にこのようなランチョン･ミーティングを開催し，会員同士の交流を通して，国際学会・国際交流事業への参加，国際共同研究の活性化のきっかけ作りを行っています．次年度の第 44 回年会でも開催予定です．「こんなテーマでミニ講演を行って欲しい，こんな企画をして欲しい」といったご要望などありましたら，是非国際交流委員会にご意見をお寄せください．

最後になりましたが，今回の開催にあたりご協力頂いた年会実行委員会，年会企画委員会，広報委員会の皆様，当日ご協力下さった皆様，参加者の皆様に感謝申し上げます．

（宇都宮大学・出口明子）

国際学会参加報告（59）

- East-Asian Association for Science Education Autumn School 2019 -

2019年9月17日から23日の期間, 静岡大学においてEast-Asian Association for Science Education (EASE)によるオータムスクールが開催されました．オータムスクールでは，東アジアの大学で科学教育を専攻する大学院生が集まり，様々な活動を行います．今回の参加国／地域は，日本，韓国，中国，台湾，香港，タイ，インドネシア，アメリカで，参加者は，各国の教授が計12名，学生が計26名でした．

期間中，学生は６つのグループに分かれ，教授の指導の下，お互いの研究を紹介したり，将来の共同研究に向けてディスカッションし，研究プロポーサルを作成するといった活動に取り組みました．４日目には, 各グループの研究プロポーサルについてプレゼン大会を行い, 研究計画の完成度を競いました．これらの活動では，お互いの関心やバックグランドが異なる中で，１つの研究計画を練り上げるという作業に苦戦しつつも，参加者それぞれの得意なことを活かし，お互いに教え合いながら活動に取り組むことで，学びの多い活動となりました．また，その他の活動として，各国の教授による講義が行われたり，静岡県井川地域の自然を体験する活動，科学館等の施設見学が実施されました．

今回のサマースクールに参加して，同じ科学教育を専攻する学生であっても，各国・地域が直面している状況により，研究の関心が大きく異なることを学びました．そのような状況にあって，自分の研究テーマに対して様々な視点から意見をもらうことができたことは大きな経験となりました．EASEは隔年でConferenceとWorkshop (School)を繰り返しているので，興味を持った方はぜひご参加ください．

（広島大学大学院・中村大輝）

国際学会開催情報

2019 年

ICASE World Conference on Science and Technology Education　☆本学会の加盟団体です。

開催地：Pattaya, Thailand

期間：2019 年 12 月 2-6 日

http://www.icaseonline.net/icase2019/

The 14th International Conference for Internet Technology and Secured Transactions (ICITST-2019)

開催地：　CCT Venues-Docklands, London, UK

期間：2019 年 12 月 9-11 日

http://www.icitst.org

2020 年

10th International Conference on Internet Technologies & Society 2020

開催地：São Paulo, Brazil

期間：2020 年２月 5 － 7 日

http://www.its-conf.org/

The 11th International Conference on Education, Training and Informatics: ICETI 2020

in the context of The 11th International Conference on Society and Information Technologies: ICSIT 2020

開催地：Orlando, Florida, USA

期間：2020 年 3 月 10 - 13 日

http://www.iiis-spring20.org/icsit/website/default.asp?vc=31

The 31st annual conference of the Society for Information Technology and Teacher Education

開催地：New Orleans, USA

期間：2020 年４月 6 -10 日

https://site.aace.org/conf/

☆特色：地元の学校見学のツアーが計画されることがある(毎回ではない)ので，海外の学校を見学してみたいという人にお勧め.

The 6th International Conference on Learning and Teaching—ICLT 2020

開催地：Macau, China

期間：2020 年 5 月 18-20 日

http://www.iclt.org/

EdMedia
開催地：Amsterdam, Netherlands
期間：2020 年 6 月 18-20 日
https://www.aace.org/conf/edmedia/
☆特色：地元の学校見学のツアーが計画されることがある(毎回ではない)ので，海外の学校を見学してみたいという人にお勧め.

AACE International Conference & Expo
開催地：Chicago, USA
期間：2020 年 6 月 28 日-7 月 1 日
https://web.aacei.org/conferences-events

The 6th International STEM in Education Conference
開催地：Vancouver, Canada
期間：2020 年 7 月 9-11 日
http://stem2020.ubc.ca/

第 43 回年会における若手活性化委員会企画　報告

第 43 回年会において, 若手活性化委員会によるチュートリアルおよびスタートパーティーを開催しました.

チュートリアルでは，平林真伊先生（山形大学），瀬戸崎典夫先生（長崎大学）をゲストスピーカーとしてお招きし，「はじめての『科学教育研究』」というテーマの下，研究に着手したときのエピソードや苦労話などについて語っていただきました．平林先生は小学生の実態調査で，瀬戸崎先生は教材の開発検証といった研究アプローチで『科学教育研究』への採録経験があり，どのように先行研究をレビューしたのか，どのように研究の問いを立てて進めたのか，どのように査読のコメントに対応したのか，などをインタビュー形式でお話しいただきました．お二人のゲストスピーカーの生の声や質疑応答を通して, 両先生の知識や経験を共有する場をつくることができました. チュートリアルの締めくくりとして, 若手活性化委員会委員長の雲財寛先生 (日本体育大学) から, お二人のゲストスピーカーの論文紹介と, 若手研究者の論文投稿を促進する「若手特集」の概要と投稿のお誘いについてのアナウンスがありました．最後に，12 月 21 日に長崎大学・文京キャンパスで開催される 2019 年度第 3 回日本科学教育学会研究会（若手活性化委員会開催担当）の会場について山田真子先生（長崎大学）から案内がありました. 参加者アンケートからは，８割以上の方から満足したとの評価をいただくことができました．参加者からは，「『科学教育研究』に論文を採録された先生方の実体験を伺うことができ，今後の投稿に向けた参考になった.」,「文献のレビューや研究の進め方，査読コメントに対する対応など，論文を採録するためにどのような具体的な準備をすればよいかを伺えて勉強になった.」,「インタビュー形式が新鮮で面白く，研究の話を興味深く伺うことができた.」などの感想をいただきました. ゲストスピーカーの平林先生, 瀬戸崎先生，そして参加いただいた 48 名の皆様，誠にありがとうございました.

若手研究者が研究分野の垣根を越えた交流の活性化を図るスタートパーティーは, 42 名の皆様にご参加いただきました．今回は，宇都宮駅近くの「海蔵　ＪＲ駅東口店」で行われました．チュートリアルが盛況すぎたために, スタートパーティーの開始時間を遅らせるというアクシデントもありましたが, チュートリアル以上に若手研究者の交流が活性化していたように思います.

また，運営ボランティアとして，今回は 7 名の皆様にご協力いただきました．皆様のおかげで円滑に企画を運営することができました．本当にありがとうございました．また，これまでの研究会・年会で運営ボランティアをご担当いただいた方も継続して参加されており，若手ネットワークの広がりと深まりを確認することができました．ぜひ今後もこのつながりを大切にしていただきたいと思います.

最後になりますが，最新の若手活性化委員会の情報は，若手活性化委員会の Facebook ページ（https://www.facebook.com/jssewakate/）にて公開しております. 今回の若手活性化委員会企画について, Facebook を通して知られた方もおられたようです．どうぞご覧になっていただき，今後の研究会などに足を運んでいただくきっかけとなれば幸いです.

チュートリアルの様子

（大谷洋貴：日本女子大学）

2019 年度第３回日本科学教育学会研究会（若手活性化委員会開催）　予告

若手活性化委員会が担当となり，2019 年 12 月 21 日（土）に，長崎大学の文京キャンパスにおきまして，第 3 回研究会を開催いたします．この研究会は，『科学教育研究』の若手会員を対象とした特集「次世代を担う若手研究者の科学教育研究」(通称:若手特集) とタイアップしています. 研究会においては，ワークショップ，ポスター形式の研究発表，懇親会などを計画しています．

多数のみなさまの積極的なご参加をお待ちしています．若手会員のみなさまは，ぜひご発表をお願いいたします．

概要は下記の通りです．

＜論文執筆ワークショップ＞

今回は「査読の対応」に焦点を当てたワークショップを予定しております．具体的には，採録経験者に，査読対応に関するノウハウ，採録に至るまでのエピソード，査読対応の苦労話などを語ってもらう予定です．そして，それらの話をもとに，査読対応における工夫や留意点などについて議論します．このワークショップでの学びは，実際の査読対応だけでなく，投稿前の原稿のブラッシュアップにも活かせることと思います．ぜひご参加ください．

＜企画：論文投稿相談＞

今回の研究会において研究発表を行う会員のみなさまの中には，「『科学教育研究』若手特集にできれば投稿したいが，投稿するかどうか迷っている」「研究会で発表してから，『科学教育研究』若手特集に投稿するかしないかを決めようと考えている」という若手会員の方がいらっしゃるかもしれません．今回の研究会においては，そうした会員の方を対象として，ポスター形式の研究発表において，『科学教育研究』若手特集の投稿に関する相談を若手活性化委員会のメンバーが中心となりインタラクティブにお受けしたいと考えています．

＜研究発表申込の募集＞

研究発表はすべて，ポスター形式で行います．多くの皆様の発表申込をお待ちしております．なお，本研究会で研究発表を行うことで,『科学教育研究』若手特集に論文を投稿する条件の一部を満たすことができます．さらに，本研究会当日の発表の中から，優秀な研究発表に対しては「ベストプレゼンテーション賞」を授与します．ただし,「ベストプレゼンテーション賞」の対象となるのは条件があります．詳細は学会 Web サイトの本研究会ページをご確認ください．

＜運営ボランティアの募集＞

研究会当日の運営を支援してくださるボランティアを今回も募集します．業務終了後にはボランティア活動参加証明書を若手活性化委員会委員長名で授与いたします. 大きなことは無理でも少しだけなら，と考える方も大歓迎です．無理のない範囲で作業に従事していただくつもりですのでご安心ください．他大学の学生や若手研究者と知り合うよい機会ですので，ふるってご応募ください．

研究発表申込の募集，運営ボランティアの募集，および,『科学教育研究』の特集「次世代を担う若手研究者の科学教育研究」の詳細については，学会 Web サイトをご確認ください．上記の他にも楽しい企画（お土産選手権など）を計画しております．各種企画の詳細の情報は若手活性化委員会 Facebook ページやメーリングリストで随時公開していきます．どうぞご期待ください．

次世代の科学教育を語り合いましょう．皆様のご発表，ご参加をお待ちしています．

○発表申し込みについて

発表を希望される方は,学会 Web サイトの本研究会ページ（「2019 年度第 3 回日本科学教育学会研究会（若手活性化委員会開催）」）に記載されてある発表・参加申込み URL よりお申込をお願いいたします．研究会 URL および発表・参加申込み URL は下記の通りです．発表申込締切は 2019 年 11 月 11 日（月）です．

・研究会 URL：2019 年度第 3 回日本科学教育学会研究会（若手活性化委員会開催）
http://www.jsse.jp/jsse/modules/note7/index.php?id=119
・発表・参加申込み URL：https://goo.gl/forms/Qf4k5dSdD3xB9fbD2
・『科学教育研究』の特集「次世代を担う若手研究者の科学教育研究」
http://www.jsse.jp/jsse/modules/note5/index.php?id=31

ご不明な点につきましては，以下の問い合わせ先までメールにてご連絡ください．

・問い合わせ先：日本科学教育学会若手活性化委員会・幹事 大谷洋貴（日本女子大学）
otanih [atmark] fc.jwu.ac.jp

Facebook ページやメーリングリストの登録は，随時，受け付けています．ぜひご登録ください．

◯若手活性化委員会 Facebook
https://www.facebook.com/jssewakate/
◯JSSE 若手研究者メーリングリスト登録 URL
https://goo.gl/tClQb4

（雲財　寛：日本体育大学）

編集委員会だより

2019 年度第 1 回編集委員会報告

令和元年 8 月 23 日（金）宇都宮大学教育学部において開催された．まず，内ノ倉編集理事担当より，「科学教育研究」の編集状況について，以下の通りの報告があった．

1. 新規投稿論文（2019.6.1～2019.7.31）：8 編（内訳：和文 8 編、英文 0 編）
2. 査読中論文（2019.7.31 現在）：36 編（内訳：担当編集委員選定中：0 編、査読者選定中：2 編、査読中（1 回目）：4 編、担当編集委員による第 1 審総合判定中：2 編、改訂稿待ち：10 編、査読中（2 回目）：17 編、担当編集委員による第 2 審総合判定中：1 編、編集委員長による最終判定中：0 編）
3. 掲載決定論文（2019.6.1～2019.7.31 現在）：5 編（内訳：研究論文 5 編、総説・展望 0 編、資料 0 編、プラザ 0 編（通算合計 43-3：3 編（通算 6 編）、43-4：2 編（通算 2 編））

続いて，久保田編集理事担当より，特集「次世代を担う若手研究者の科学教育研究」について，今年度も引き続き特集を組むことが報告された．さらに，特集「「社会に効果的に適応できる資質・能力の育成と評価」は，事前申込 8 月末日締め切り，投稿 9 月末日締め切りであることが報告されるとともに，多くの投稿を呼びかけてほしいとの依頼があった。その他，今後の特集論文のテーマに関する意見交換が行われた．

次の編集理事会は，2019 年 11 月 16 日（土）12:00～14:00，場所は，内田洋行新川本社を予定している．

「科学教育研究」投稿状況および掲載決定状況

（2019 年 7 月 31 日現在）

2017年　6月	4	0	18	1	4	(41-3)	0	(41-3)	0				4	0
					0	(41-4)	0	(41-4)	0					
2017年　7月	3	1	16	2	1	(41-3)	0	(41-3)	0				3	0
					1	(41-4)	0	(41-4)	0					
2017年　8月	2	0	11	2	0	(41-3)	0	(41-3)	0				4	0
					3	(41-4)	0	(41-4)	0					
2017年　9月	9	0	15	0	2	(41-4)	2	(41-4)	0				2	1
					0	(42-1)	0	(42-1)	0					
2017年　10月	15	1	27	1	0	(41-4)	0	(41-4)	0				3	0
					0	(42-1)	0	(42-1)	0					
2017年　11月	5	0	28	1	1	(41-4)	0	(41-4)	0				3	0
					1	(42-1)	0	(42-1)	0					
2017年　12月	9	0	27	1	2	(42-1)	0	(42-1)	0				8	0
					0	(42-2)	0	(42-2)	0					
2018年　1月	7	0	27	1	1	(42-1)	0	(42-1)	0				5	0
					1	(42-2)	0	(42-2)	0					
2018年　2月	7	0	30	1	1	(42-2)	0	(42-2)	0				3	0
					0	(42-3)	0	(42-3)	0					
2018年　3月	15	0	37	1	4	(42-2)	0	(42-2)	1	(42-2)			3	1
					0	(42-3)	0	(42-3)	0					
2018年　4月	14	0	42	0	1	(42-2)	0	(42-2)	0				4	2
					3	(42-3)	0	(42-3)	0					
2018年　5月	5	0	35	0	1	(42-2)	0	(42-2)	0		1	(42-2)	8	0
					3	(42-3)	0	(42-3)	0					
2018年　6月	6	0	35	0	3	(42-3)	0	(42-3)	0				3	0
					0	(42-4)	0	(42-4)	0					
2018年　7月	6	1	35	1	1	(42-3)	0	(42-3)	0				3	1
					1	(42-4)	0	(42-4)	0					
2018年　8月	6	1	30	1	6	(42-4)	0	(42-4)	0				6	0
					0	(43-1)	0	(43-1)	0					
2018年　9月	4	0	16	1	9	(42-4)	0	(42-4)	0				7	2
					1	(43-1)	0	(43-1)	0					
2018年　10月	14	0	26	1	0	(42-4)	0	(42-4)	0				2	1
					1	(43-1)	0	(43-1)	0					
2018年　11月	5	0	24	1	0	(42-4)	0	(42-4)	0				6	0
					1	(43-1)	0	(43-1)	0					
2018年　12月	4	0	26	1	1	(43-1)	0	(43-1)	0				1	0
					0	(43-2)	0	(43-2)	0					
2019年　1月	8	0	27	0	0	(43-1)	0	(43-1)	0				4	0
					5	(43-2)	0	(43-2)	0					
2019年　2月	2	0	24	0	0	(43-1)	0	(43-1)	0				1	0
					4	(43-2)	0	(43-2)	0					
2019年　3月	11	0	28	0	2	(43-2)	0	(43-2)	0				4	1
					0	(43-3)	0	(43-3)	0					
2019年　4月	18	0	39	0	2	(43-2)	0	(43-2)	0				4	0
					1	(43-3)	0	(43-3)	0					
2019年　5月	7	0	39	0	0	(43-2)	0	(43-2)	2				5	0
					2	(43-3)	0	(43-3)	0					
2019年　6月	4	0	37	0	2	(43-3)	0	(43-3)	0				4	0
					0	(43-4)	0	(43-4)	0					
2019年　7月	4	0	36	0	1	(43-3)	0	(43-3)	0				1	1
					2	(43-4)	0	(43-4)	0					

広報委員会からのお知らせ

科学教育研究レター第 244 号をお届けします．一般社団法人日本科学教育学会の広報活動についてお気づきの点などがございましたら，学会 Web サイトにある「お問い合わせ」をご利用のうえ，お知らせください．

担当理事： 舟生日出男（創価大）　谷塚光典（信州大）

委　　員： 内ノ倉真吾（鹿児島大）　益川弘如（聖心女子大）　竹中真希子（大分大）
縣　秀彦（国立天文台）　加納寛子（山形大）　島田和典（東京学芸大）
高橋　聡（東京理科大）

幹　　事： 辻山洋介（千葉大）　石﨑友規（常磐大）

科学教育研究レター編集　日本科学教育学会広報委員会

一般社団法人日本科学教育学会　Japan Society for Science Education

ＵＲＬ： *http://www.jsse.jp*

□ 事務局　中西印刷（株） 学会部　内　ＴＥＬ：075-415-3661　ＦＡＸ：075-415-3662
E-mail : *jsse [at mark] nacos.com*
〒602-8048　京都市上京区下立売通小川東入ル

□編集事務局（論文投稿・査読編集）　ＴＥＬ：075-415-3155　ＦＡＸ：075-417-2050
E-mail : *jsse-hen [at mark] nacos.com*
中西印刷（株） 学会部　内　〒602-8048　京都市上京区下立売通小川東入ル

郵便振替口座：00170-6-85183　日本科学教育学会
銀 行 口 座：みずほ銀行 京都中央支店　普通 2269008　日本科学教育学会